

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 報

第737号

令和7年3月20日編集

発行所
 公益社団法人 埼玉県獣医師会
 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
 (埼玉県農業共済会館内)
 電話 048(645)1906
 FAX 048(648)1865
 E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
 URL : <https://www.saitama-vma.org/>
 振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 中村 滋
 編集責任者 高橋 一成
 印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

中村会長が麻酔モニタリングセミナー等に出席 1

会務報告

集合狂犬病予防注射関係売買契約会 2

第3回狂犬病予防委員会・第2回班長会議... 2

ひろば

埼玉県獣医師会学術講習会(西支部担当)開催報告 3

埼玉県獣医師会学術講習会(北支部担当)開催報告 3

埼玉県獣医師会学術講習会(東支部担当)開催報告 4

お知らせ

埼玉県からのお知らせ 5

日本獣医師会からのお知らせ 6

埼玉県獣医師会学術広報版 11

事務局より

事務局メモ 12

編集後記 14

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

中村会長が麻酔モニタリングセミナー等に出席

学術委員会委員長 宗像俊太郎

令和7年3月2日(日)午後2時から、令和6年度埼玉県獣医師会学術講習会が埼玉県さいたま市の「With Youさいたま」において開催されました。

本講習会では、帯広畜産大学獣医学研究部門動物医療センター麻酔科准教授の佐野忠士先生をお招きし、「明日の現場で活かせる！麻酔モニタリングseminar」と題して、フクダエム・イー工業株式会社様ご協力の下、埼玉県獣医師会が後援として実施し、冒頭、中村滋埼玉県獣医師会会長が挨拶をしました。

講習会では、まず「麻酔モニタリングを学び直す」ことを目的として、麻酔の概要からはじまり、麻酔とは何か、麻酔による呼吸循環抑制をどうコントロールするか、麻酔リスクに関連のあるASA分類についてご講演いただきました。

また、麻酔モニタリングについては、動物の状態、呼吸器系、循環器系、覚醒期のモニタリングに分け、実際の症例での対応についても詳しく教えていただきました。

最後に質疑応答では、アトロピンの使用タイミングについての質問があり、消化管や眼科など迷走神経反射が強く出ることが予想される手術前や、オピオイド投与前に徐脈予防として使用しているとお答えいただくなど、日々の診療に役立つ非常に有意義な講習会となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



講師の先生を囲んで
左から 中村滋会長、佐野忠士先生、宗像俊太郎副会長(学術委員長)

また、中村滋会長は令和7年3月9日(日)から3月10日(月)に鬼怒川温泉で開催された東支部研修旅行に参加して支部員と意見交換をし、交流を深めました。



懇親会で挨拶をする中村滋会長



出席した東支部の先生方

令和7年度集合狂犬病予防注射関係資材売買契約会

令和7年2月20日(木)午後1時30分から、埼玉県農業共済会館において次の事項を協議した。

1 協議事項

(1) 令和7年度集合狂犬病予防注射関係資材売買契約について

各社から提出された狂犬病ワクチン及び注射用資材等についての見積価格を比較検討し、資材ごとの契約単価を決定して各社と売買契約を締結し、班別の配布計画(案)について協議し決定した。

(2) その他

集合狂犬病予防注射実施班ごとへの資材納入に当たっては、各社が班長と十分に連絡を取り、資材が円滑に納入されるよう要請した。

第3回 狂犬病予防委員会

令和7年3月7日(金)午後1時30分から、埼玉県農業共済会館において次の事項を協議した。

1 協議事項

(1) 令和7年度集合狂犬病予防注射実施について

令和7年度における実施予定者、ワクチン等の関係資材の購入及び班別配布計画並びに班長提出書類等について協議し決定した。

実施期間中に資材が不足した場合の追加発注については必ず事務局に依頼することとし、狂犬病予防委員長の許可を得て発注することにより、可能な限り返品数を減らすこととした。

また、事故が発生した場合には、実施者、班長、事務局、委員、支部長等がよく連携をとって、迅速・適確な対応を取ることにした。

(2) その他

第2回 班長会議

令和7年3月7日(金)午後2時30分から、埼玉県農業共済会館において次の事項を協議した。

1 協議事項

(1) 令和7年度集合狂犬病予防注射実施について

令和7年度の実施予定者、ワクチン等関係資材の購入及び班別配布計画並びに班長提出書類等について説明し、円滑な実施を依頼した。

実施期間中に資材が不足した場合の追加発注については必ず事務局に依頼することとし、狂犬病予防委員長の許可により発注することにより、可能な限り返品数を減らすこととした。

また、事故が発生した場合には、実施者、班長、事務局、委員、支部長等がよく連携をとって、迅速・適確な対応を取ることにした。

(2) その他

埼玉県獣医師会学術講習会(西支部担当)開催報告

西支部支部長 堅木 道夫
 学術委員会委員長 宗像俊太郎
 学術委員 岩崎 隆

西支部では令和7年2月16日(日)動物心臓外科センターの菅野信之先生をお招きして、「僧帽弁閉鎖不全症の診断と治療」という演題で、外科手術を中心に僧帽弁閉鎖不全症について御講義をしていただきました。

御講義内容は、僧帽弁閉鎖不全症の診断から、内科治療、そして僧帽弁手術の適応期、術前準備、そして手術準備と外野の態勢の説明、そして動画を交えての術式の詳細な解説と術後経過、成績と非常に多岐にわたる内容の濃い御講義でした。

これまで我々開業獣医師が、僧帽弁手術を患者様に説明する場合に、今一つしっかりと説明できなかった部分を完全に埋めて頂き、その上患者様にさらに詳しくご説明できるレベルまで、先生の御講義により引き上げていただけた気がしております。

さらに御講義の流れの中で、猫の体外循環による心臓外科手術のお話も聞かせていただき、獣医心臓外科のすさまじい進歩を目の当たりにさせていただきました。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
30名	2名	2名	19名	1名	4名	1名	1名

埼玉県獣医師会学術講習会(北支部担当(Web開催))開催報告

北支部長 山口 達也
 学術委員会委員長 宗像俊太郎
 北支部学術委員 山本 慎也

2025年2月19日(水)、北支部担当として石川勇一先生(クォーク動物病院)にお願いしZoom形式のオンライン講習会を実施しました。

「臨床現場でのあたまの使い方！臨床推論オーバービュー」と題し、日々の診療における「考え方」についてお話ししていただきました。

問診や身体検査等から診断仮説を立て、それを検証して正しい診断へと導く「仮説演繹法」について一連の流れを学びました。また、日頃の診察の際に使い慣れた検査であっても、その解釈を誤ると誤診につながります。検査の感度や特異度に対する考え方、基準値やカットオフ値の解釈について改めてその重要性を認識する良い機会となりました。

後半では正しく治療効果を判定するために意識すべきバイアスの存在や、中立的に医療情報を得て解釈するポイントについて学びました。

明日からの臨床現場で生かせる有意義な講習となりました。

<参加者：会員49名>

埼玉県獣医師会学術講習会(東支部担当)開催報告

東支部長 青山 利雄
 学術委員会委員長 宗像俊太郎
 学術委員 笠次 良宣

東支部では、令和7年2月23日(日)にどうぶつの総合病院 麻酔科・外科・ペインクリニック科主任、米
 国獣医麻酔疼痛管理専門医の浅川誠先生をお招きし、「避妊・去勢手術の麻酔+ α ～麻酔モニターとピット
 フォールを中心に手術手技を学び直そう～」と題して越谷サンシティにて対面式講習会を実施しました。

日常行われる麻酔・手術手技についての再確認ということもあり、講義ではまさに痒いところに手が届く
 内容、ちょっとしたコツや気づきを中心に講演を通して、一般臨床家にとって大切なことを解説いただきま
 した。

参加者の皆様からは多くのご質問をいただき、日々の診療に役立つ非常に有意義な講習会となりました。
 ご参加いただきました皆様、ありがとうございました

<参加者内訳>

出席者	さいたま支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
41名	0名	2名	1名	1名	34名	2名	1名

広告

人が食べるものと同じだけ安全で
 美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド

Dr. CREDO

胃腸と皮膚が気になる

成犬用 総合栄養食

No.1

血流と健康が気になる

中・高齢犬用 総合栄養食

No.2

体重と健康が気になる

成犬用 総合栄養食

No.3

美味しさに
 自信

ドクターイデア

Dr. IDEA

こだわりの国産品。

いつでも新鮮! 小分けパック。

下部尿路に

No.1

体重管理に

No.2

7歳から

No.3

愛犬・愛猫のトータルサポートフード

着色料不使用

自然派由来の酸化防止剤



森久保CAメディカル株式会社

神奈川：046-206-5713 山梨：055-287-8622 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
 三郷：048-948-2112 茨城：0296-54-6101 千葉：043-309-5430

おしらせ

畜安第1050-1号
令和7年2月21日

公益社団法人埼玉県獣医師会
会長 中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課長
渡辺 志保 (公印省略)

動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令の制定
について (通知)

日頃より本県の家畜衛生行政に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4第1項の規定に基づき、下記のとおり農林水産省令が公布、施行されました。
つきましては、貴会会員へ周知いただくとともに動物用医薬品の適切な使用について御協力をお願いいたします。

記

1 改正内容

- (1) 「塩酸セフチオフルを有効成分とする注射剤」の使用者が遵守すべき基準について、豚に係る「使用禁止期間」を「食用に供するためにと殺する前3日間」から「食用に供するためにと殺する前1日間」に変更する。
- (2) 「フェノキシエタノールを有効成分とする薬浴剤」について、「動物用医薬品使用対象動物」、「用法及び用量」及び「使用禁止期間」を設定する。
- (3) 「プロフラニリドを有効成分とする畜舎噴霧剤」について、「動物用医薬品使用対象動物」、「用法及び用量」及び「使用禁止期間」を設定する。

2 施行日

令和7年2月21日

3 今般の改正に関連する製剤

- (1) 塩酸セフチオフルを有効成分とする注射剤
販売名：エクセネルRTU (ゾエティス・ジャパン株式会社)
- (2) フェノキシエタノールを有効成分とする薬浴剤
販売名：バイオネンネ (バイオ科学株式会社)
効能又は効果：スズキ目魚類の麻酔
- (3) プロフラニリドを有効成分とする畜舎噴霧剤
販売名：リブケアFL (エムシークropp&ライフ化成株式会社)
効能又は効果：鶏舎内のワクモの駆除

＜ 別 紙 ＞

6 日 獣 発 第 327 号
 令 和 7 年 2 月 21 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本 獣 医 師 会
 会 長 藏 内 勇 夫
 (公印及び契印の押印は省略)

令和6年度日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」の 選考結果について

このたび、第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和6年度)会期中の令和7年1月25日に開催された令和6年度第2回日本獣医師会獣医学術功績者選考委員会において、下記のとおり令和6年度における日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」の受賞者を決定したのでお知らせします。

記

【令和6年度 日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」】

〔 産業動物部門 〕

黒毛和種子牛の呼吸器病における初診時の胸部超音波検査によるスコア化と呼吸器症状および発育との関係

叶 有斗 (鹿児島県農業共済組合畜産センター南部診療所)、他

〔 小動物部門 〕

犬における喉頭蓋後傾の病態、病理組織学検査および喉頭蓋切除術に関する考察

木村一気 (AMC 末松どうぶつ病院・大分県)、他

〔 公衆衛生部門 〕

行政施設を活用した猫のスパイクリニックス開設に向けて

～にゃんがたセンタークリニック 猫の不妊手術専門病院～

星野勇矢 (新潟市動物愛護センター)、他

令和6年度 日本獣医師会獣医学術賞 受賞研究業績・受賞者一覧

【 産業動物部門 〕

〔 獣医学術奨励賞 〕

牛伝染性リンパ腫ウイルス *po1* 遺伝子を標的としたプロウイルス量に基づく伝播リスク分類基準の設定

西森朝美 (農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門)、他

〔 獣医学術学会賞 〕 (産地区一16)

黒毛和種子牛の呼吸器病における初診時の胸部超音波検査によるスコア化と呼吸器症状および発育との関係

叶 有斗 (鹿児島県農業共済組合畜産センター南部診療所)、他

〔 獣医学術功労賞 〕

黒毛和種牛における代謝性疾患の予防に関する研究

片本 宏 (宮崎大学・名誉教授)

【 小動物部門 〕

〔 獣医学術奨励賞 〕

僧帽弁粘液腫様変性犬における椎体長に依存しない心サイズの評価法に関する検討

才田祐人 (矢田獣医科病院・石川県)、他

〔 獣医学術学会賞 〕 (小地区一12)

犬における喉頭蓋後傾の病態、病理組織学検査および喉頭蓋切除術に関する考察

木村一気 (AMC 末松どうぶつ病院・大分県)、他

〔 獣医学術功労賞 〕

小動物分野における麻酔ならびに行動学に関する実践的研究

武部正美 (武部獣医科医院・院長)

【 公衆衛生部門 〕

〔 獣医学術奨励賞 〕

と畜検査で見えなかった慢性型豚丹毒と生ワクチンの関連

大野祐太 (北海道立衛生研究所)、他

〔 獣医学術学会賞 〕 (公地区一3)

行政施設を活用した猫のスパイクリニックス開設に向けて

～にゃんがたセンタークリニック 猫の不妊手術専門病院～

星野勇矢 (新潟市動物愛護センター)、他

〔 獣医学術功労賞 〕

環境汚染モニタリングのための生物学的指標、及び *Listeria* 属菌に係る

衛生対策に関する研究 植田富貴子 (日本獣医生命科学大学・名誉教授)

6 日 獣 発 第 338 号
令 和 7 年 2 月 18 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会 長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

動物の愛護及び管理に関する法律施行規則の 一部を改正する省令の施行について

このことについて、令和7年2月17日付け環自総発第2502173号をもって、環境省自然環境局長から、別添のとおり通知がありました。
このたびの通知は、動物の愛護及び管理に関する法律施行規則の一部を改正する省令（令和7年環境省令第3号）が令和7年2月17日に公布され、一部規定を除き（※）即日施行されることです。
（※動物の愛護及び管理に関する法律施行規則（平成18年環境省令第1号）第21条の9の改正規定については、令和7年9月1日に施行。）
つきましては、内容等についてご了知の上、貴会関係者への周知方、よろしくお願いいたします。

※別添省略

6 日 獣 発 第 350 号
令 和 7 年 3 月 6 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会 長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

ランピースキン病ワクチン接種県由来の牛肉の米国への輸 出停止措置の解除について

このことについて、令和7年3月4日付け事務連絡により農林水産省消費・安全局動物衛生課課長補佐（輸出検査疫環整備班）から別紙のとおり通知がありました。

このたびの通知は、米国への牛肉の輸出については、ランピースキン病ワクチン接種県由来の牛は米国向け輸出牛肉取扱施設に搬入しない等の対応が必要とされているところですが、米国当局との協議の結果、ランピースキン病のワクチン接種による輸入制限を撤廃することで合意が得られたことについて、周知を依頼されたものです。

なお、受け入れ開始日程等はまだ調整中とのことであり、当面の間は従来の対応を継続していただくようお願いいたします。
つきましては、貴会会員に通知方よろしくお願い致します。

※別紙省略

事務連絡
令和7年2月19日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏見啓二

米国における猫の高病原性鳥インフルエンザ感染事例について（第3報）
—米国・情報提供—

このたび、令和7年2月17日付け事務連絡により農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐（愛玩動物用飼料対策担当）からペットフード関連業界団体の長あてに別紙のとおり通知された旨本会あてに情報提供がございましたのでお知らせします。

米国ワシントン州農務省及びオレゴン州農務省は、令和7年2月14日付けプレスリリースにおいて、Wild Coast 社製の鶏肉を用いた生ペットフードを摂取した猫が高病原性鳥インフルエンザに感染した旨及び同製品から高病原性鳥インフルエンザが検出された旨等を公表したとのことです。

今回問題となったWild Coast 社のペットフードは米国内で自主回収されており、日本国内の流通・販売は現時点で確認されていないとこのことです。念のため、ペットフードの輸入や国内流通の際には当該情報にご留意いただき、特に非加熱の乳及び家きん肉を用いたペットフードの輸入を検討する際はご注意ください。また、会員への周知方ご協力の程お願いいたします。

※別紙省略

事務連絡
令和7年3月6日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏見啓二

米国における猫の高病原性鳥インフルエンザ感染事例について（第4報）
—米国・情報提供—

このたび、令和7年3月3日付け事務連絡により農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐（愛玩動物用飼料対策担当）からペットフード関連業界団体の長あてに別紙のとおり通知された旨本会あてに情報提供がございましたのでお知らせします。

米国食品医薬品局（FDA）は、令和7年3月1日付けプレスリリースにおいて、Wild Coast 社による自主回収の対象製品が追加された旨、公表されたとのことです。

なお、別紙のWild Coast 社のペットフードは米国内で自主回収されており、日本国内の流通・販売は現時点で確認されていないとこのことです。念のため、ペットフードの輸入や国内流通の際には当該情報にご留意いただき、特に非加熱の乳及び家きん肉を用いたペットフードの輸入を検討する際はご注意ください。また、会員への周知方ご協力の程お願いいたします。

※別紙省略

6 日 獣 発 第 355 号
令 和 7 年 3 月 12 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会 長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

**医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する
法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四
に規定する医療等の用途を定める省令の一部改正について**

このことについて、令和7年3月6日付け事務連絡をもって農林水産省消費・安全局畜産安全管理課課長補佐（薬事監視指導班担当）から、別紙のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令（令和7年厚生労働省令第17号）が公布されたことについて周知を依頼されたものです。つきましては、貴会会員に通知方よろしく願います。

※別紙省略

6 日 獣 発 第 356 号
令 和 7 年 3 月 12 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会 長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令等の一部改正について

このことについて、令和7年3月6日付け6消安第6881号をもって農林水産省消費・安全局長から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律（昭和二十八年法律第三十五号）第二条第三項の規程に基づき、昭和五十一年農林水産省告示第七百五十号（飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律第二条第三項に基づく飼料添加物を定める件）の一部が改正されたことについて、会員への周知を求められたものです。つきましては、貴会関係者への周知方、よろしく願います。

※別添省略

6 日 獣 発 第 357 号
令 和 7 年 3 月 12 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会 長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

**飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律の
運用についての一部改正について**

このことについて、令和7年3月6日付け6消安第6901号をもって、農林水産省消費・安全局長から、別添のとおり通知がありました。このたびの通知は、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林水産省第35号）別表第1の1の（5）及び同項の（注）の1で義務づけられた飼料添加物の名称表示について、新たな飼料添加物の一般名が追加され、飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律の運用通知が一部改正されたことについて周知を依頼されたものです。つきましては、内容をご了知の上、貴会関係者への周知方、よろしくお願いたします。

※別添省略

令和6年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和7年3月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月			
7月28日(日)		さいたま市 「学校飼育動物におけるウサギの診療」 日本エキゾチック動物医療センター 三輪恭嗣 先生 (さいたま市 With Youさいたま)	
8月16日(金)		南支部 「猫の呼吸器疾患」 日本獣医生命科学大学 藤原亜紀 先生 【Zoomにて開催】	
9月1日(日)	令和6年度 関東・東京合同地区獣医師大会(群馬) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (高崎市 Gメッセ群馬)		
10月23日(水)	北支部 「スイス、ヨーロッパの酪農、 畜産、家畜の診療」 「我が国におけるAMR(薬剤耐性)対策および診療の現状 と正しい薬の使い方」 宮崎大学 佐藤礼一郎 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
11月			
12月			
令和7年 1月12日(日)		南支部 「来院数TOP3から学ぶ救急診療」 TRVA動物医療センター 塗木 貴臣 先生 (さいたま市 TKP大宮ビジネスセンター)	
1月24日(金) ~1月26日(日)	令和6年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (仙台市 仙台国際センター)		
1月26日(日)		さいたま市支部 「学校飼育動物におけるウサギの診療2」 日本エキゾチック動物医療センター 三輪恭嗣 先生 (さいたま市 With Youさいたま)	
1月17日(金)	農林支部 令和6年度埼玉県家畜保健衛生 生業績発表会 (さいたま市 埼玉教育会館)		
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2月16日(日)		西支部 「心臓外科 僧帽弁閉鎖不全症を中心とした手術の実際と診断」 動物心臓外科センター 菅野 信之 先生 (川越市 川越市南文化会館)	
2月19日(水)		北支部 「臨床現場でのあたまの使い方！臨床推論 オーバービュー」 QUARC動物病院 石川 勇一 先生 【Zoomにて開催】	
2月23日(日)		東支部 「避妊・去勢手術の麻酔+α~麻酔モニター とピットフォールを中心に手術手技を学び 直そう~」 どうぶつの総合病院 浅川 誠 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
3月			

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vm.org/>
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

令和7年

3月14日 第3回総務委員会(さいたま市農業共済会館)

3月24日 第4回・第5回理事会

4月13日 第1回関東・東京合同地区理事会・幹事会(山梨県甲府市 山梨県農済会館)

5月18日 南支部総会(さいたま市 浦和ワシントンホテル)

5月20日 埼玉県畜産会第1回理事会(熊谷市 ホテルハリテイジ)

5月22日 第1回総務委員会(さいたま市 レイボックホール)

5月25日 東支部総会(越谷市 越谷サンシティ)

5月25日 さいたま市支部総会(さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野)

5月26日 西支部総会(東松山市 ガーデンホテル紫雲閣)

5月28日 第1回理事会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)

6月2日 埼玉県獣医師会第77回定時総会(さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野)

6月13日 埼玉県畜産会第70回通常総会(熊谷市 ホテルハリテイジ)

6月25日 日本獣医師会第82回通常総会(東京都港区 明治記念館)

7月6日 第2回関東・東京合同地区理事会・幹事会(山梨県甲府市 山梨県農済会館)

7月11日 全国獣医師会事務事業推進会議(東京都港区 明治記念館)

8月3日 北支部研修会・納涼会(場所未定)

9月7日 関東・東京合同地区獣医師大会・三学会(山梨県甲府市 アピオタワー館)

11月14日 全国獣医師会会長会議(東京都港区 明治記念館)

11月15日 動物感謝デー in JAPAN(東京都台東区 上野恩賜公園)

令和8年

2月15日 第1回関東・東京合同地区理事会(山梨県笛吹市 石和温泉慶山)

4月21日 第41回世界獣医師大会(東京都千代田区 ~24日 東京国際フォーラム)

広告



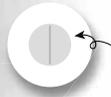
症状に合わせて、適切な量を細かくコントロール

新規格

2.5 mg/錠 誕生

動物用医薬品 要指示 指定

トリロスタブ® 2.5



よりきめ細かく処方できる
小粒サイズ
実寸 φ7mm×厚さ約2.2mm

ワンちゃん大好き
**牛肉
フレーバー***



投薬しやすい
錠剤タイプ



与えやすい大きさ
小粒サイズ



*牛肉は含まれておりません

犬の
クッシング症候群に
伴う諸症状に

トリロスタブ (TRILOSTAB) は
フジタ製薬株式会社の
登録商標です

小型犬から大型犬までカバーする多彩なバリエーション

動物用医薬品 要指示 指定

トリロスタブ® シリーズ 2.5・5・10・30・60



■販売元

ささえあ製薬株式会社

東京都品川区上大崎2丁目13番2号 <https://sasaeah.co.jp/>

■製造販売元

フジタ製薬株式会社

東京都品川区上大崎2丁目13番2号 <https://www.fujita-pharm.co.jp>

広告

人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

ASCO

ONE to ONE dog food

CALL ONE™

総合栄養食

Your dog's food based on the INTESTINAL FLORA INSPECTION.
A good intestinal environment keeps good health.

腸内フローラケア

腸内フローラ検査から
おなかの弱点をピンポイントに補う
世界に1つだけの
“うちの子”専用
健康サポートフード

かわいい“うちの子”の写真入り
パッケージでお届け!!!



詳しくはアスコセールスまで!!!

本社

〒441-8021

愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

東京本社

〒103-0027

東京都中央区日本橋1丁目16番地3号 日本橋木村ビル7階

TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

営業所

北海道支店

札幌

東日本支店

前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京

大宮、宮城、福島

中日本支店

豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋

西日本支店

広島、山口、米子、岡山、大阪、京都

編集後記

春風の心地よい季節となりましたが、先日埼玉県知事・大野元裕氏による「自治体の危機管理」に関するセミナーに出席してきました。知事として県政の現場で直面した複数の有事への対応と、今後の危機管理体制のあり方が語られました。豚熱や高病原性鳥インフルエンザ、新型コロナウイルスなど、動物と人双方に影響を与える事例が次々と発生した中で、初動対応の重要性が改めて浮き彫りとなりました。

講演では、「初動の半分は組織で決まる」との言葉が印象的だった。有事の対応を的確かつ迅速に行うには、平時からの体制整備、訓練、そして関係機関との連携が不可欠である。これは獣医師にとっても重要な視点であり、動物由来感染症や畜産危機に対する準備が、社会全体の安全保障にも直結する。実際に発生した鳥インフルエンザでは、感染した動物が「家畜」に該当しないという法的な解釈から、初動の遅れが生じた。このような制度の隙間において、科学的知見を持つ獣医師の関与は不可欠であり、現場主義に基づく柔軟な対応が求められる。行政判断と現場の認識に乖離が生じた場合でも、専門職としての意見を積極的に届ける姿勢が必要だと思われる。埼玉県では独自の「埼玉版FEMA」を立ち上げ、風水害、地震、大雪、ミサイル事案、火山降灰など多様な災害シナリオに対応した訓練を継続的に実施している。今後は、動物衛生や家畜防疫、ペット避難など獣医療関連の課題にも対象を広げ、より現場に即した実践的な体制構築が期待される。獣医師会としても、これらの訓練に積極的に参画し、行政との信頼関係を深めていくことが望まれる。

危機管理には堅牢性、冗長性、資源、迅速性の4要素が不可欠とされるという話があった。獣医療現場でも、ワクチンや防疫資材の備蓄、人材ネットワークの整備、情報伝達の高速度など、これらの要素は災害時の被害最小化に直結する。特に感染症の対応では、最初の数日が全体の結果を左右することが多く、初期対応体制の整備が肝要である。さらに、災害時のペットや家畜の避難・保護に対する社会的関心も高まりつつある。避難所での衛生管理、人獣共通感染症の監視、適切な飼養指導など、獣医師が果たすべき役割は年々拡大している。人の安心・安全を支えるという視点からも、獣医療の専門性が地域社会の危機対応力に資する場面は今後さらに増えると予測される。

さらに注目すべきは、埼玉県が進める危機管理分野でのDX(デジタルトランスフォーメーション)である。県は「防災DXビジョン」のもと、ドローンや高感度カメラを用いた現地状況の即時把握、センサーによる設備監視、災害情報の個別最適化提供などを推進している。これにより、迅速かつ正確な意思決定と現場対応が可能となり、住民の安心と安全の向上につながっている。このようなDXの活用は、獣医療分野にも大きな可能性をもたらす。例えば、動物防疫情報のリアルタイム共有、感染経路の可視化、避難所における動物の管理支援など、デジタル技術による連携強化が今後の課題となる。

獣医師会としても、DXを積極的に取り入れ、危機時の情報連携や対応力向上につなげていく必要があると強く感じました。

(黎明)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

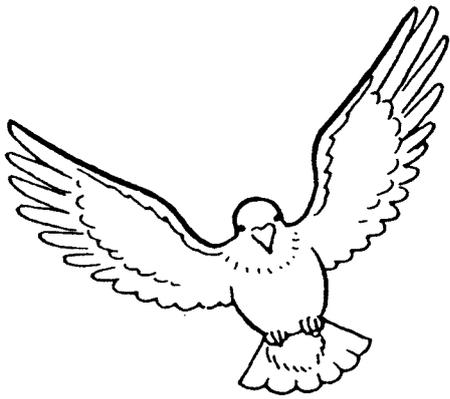
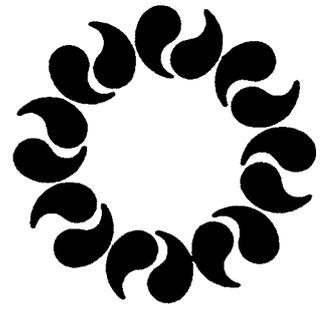
－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

彩の国



さいたま

